



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
Tel 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>
e-mail : koe@siminnokai.com

第45回福岡県人権問題研究集会 700名参加、「多様な性」を学ぶ



11月23日(木) 勤労感謝の日、「サンレイくすや」で、上記研究集会が開催されました。700名が参加。

昨年の研究集会は、全国水平社創立100周年記念として「部落問題の今日的解決状況」を学びました。今年は、多様な人権問題の一つである「LGBTQ 多様な性」について学びました。福岡県は2022年4月に「福岡県パートナーシップ宣言制度」をスタート、「性の多様性を認め合う」を県民に呼びかけています。

人間の尊厳、個人の尊重を地域社会で花開かせる「地域人権憲章」の実現をめざす私たちは、今年は憲法第13条「すべて国民は、個人として尊重される」をサブに「多様な性～性別不合・性別違和について」学びました。

午後は社会問題分科会で、映画「MINAMATA」を鑑賞。人権問題分科会では、「部落ルーツ、出自の告白」問題を内婚制が崩壊している現状から歴史的科学的に検証しました。

第4回 憲法連続講座 弁護士に聞いてみよう憲法の話



12月2日(土)、小野純司弁護士を講師とする憲法連続講座が開催されました。回を重ねるごとに参加者も増え、12名で楽しく和気あいあいの雰囲気の中で憲法を学びました。今回のテーマは、「法の下での平等」でした。

小野弁護士から、50分で「法の下での平等とは何か」について、わかりやすく解説していただきました。その後、全員が講義の感想や疑問点を出し合いました。次回日程が決まり次第、お知らせしますので、どうぞお気軽にご参加してください。

ガザ侵攻やめよ! 「平和ネット」が緊急街宣



11月24日(金)、「平和をあきらめない北九州ネット」が、小倉駅前ではイスラエルのガザ侵攻についての緊急街宣に取り組みました。さよなら原発金曜行動との共催でした。参加者は、およそ30名。イスラエルのますます苛烈になるガザへの虐殺行為をやめさせようということで、11月は19日の定例宣伝以外に9日と、この24日に緊急宣伝を入れました。国際社会が求めているのは「即時停戦」です。4日間の戦闘中断だけでなく「即時停戦」を実現すべきだとアピールしました。

イスラエルはハマスから攻撃を受けたからと「自衛権」を主張してガザを攻撃しています。しかし、ガザ地区の死者は1万4千人を超えています。その死者の約4割が子供です。一面瓦礫と化した町並みで、ガザ市民にどんな生活ができるのでしょうか。イスラエルのガザ侵攻は戦争犯罪です。何としてもこれを止めましょう。

名古屋高裁 国の責任を認める

11/30

勝利判決!!

生活保護基準引下げ違憲訴訟



生活保護費の引き下げは生存権を保障した憲法25条に反するとして、全国でたたかわれている生活保護基準引き下げ違憲訴訟一通称「いのちのとりで裁判」。名古屋高裁は、支給額の引き下げを取り消すとともに、国に賠償を命じる勝利判決を言い渡しました。

地裁判決12勝10敗、そして名古屋高裁では全国で初めて国の賠償責任までが認められた「完全勝利」であり、潮目の変化はゆるぎなく、勝利への確信に繋がりました。

いかなん貧困・福岡の会

市民連合と5党派会合 共闘再構築 大きなステップ

12月7日(木)、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」は、国会内で、日本共産党、立憲民主党、れいわ新選組、社民党、参院会派「沖縄の風」の5党派の書記局長・幹事長らに対する政策要望会を開きました。市民連合は(1)憲法も国民生活も無視する軍拡は許さない(2)市民の生活を守る経済政策(3)ジェンダー平等・人権保障の実現(4)気候変動対策強化、エネルギー転換の推進(5)立憲主義に基づく公正で開かれた政治の5項目を次期衆院選挙に向けた野党の共通政策とするよう要望。これを受け、各党が意見を表明しました。

立民の岡田克也幹事長は「5項目で野党がしっかりと協力して力合わせができる」「力を合わせて大きな政策転換をめざしていきたい」と発言しました。これに、共産党の小池晃書記局長は「非常に心強い発言だ」

と呼び。岸田政権の支持率が急低下し続けるなか「野党が力を合わせ、自民党政治を終わらせ、新しい政治をつくっていくことが非常に大事だ」と述べ、「市民と野党の共闘の再構築に全力を尽くしていきたい」と表明しました。れいわの榊万里共同代表、社民の服部良一幹事長、沖縄の風の高良鉄美参院議員もそれぞれ発言しました。



共通政策の要望書を手交する野党各党代表と市民連合のメンバー。左から4人目は小池晃書記局長=7日、衆院第2議員会館



小倉北区区民の会 学校給食無償化求め地域訪問活動



12月9日(土)10時30分~11時30分、小倉北区区民の会は、学校給食の無償化を求め、北区泉台のひなたの街へ訪問活動を行いました。ひなたの街は、最近出来た子育て世代が多く居住している200戸近い新興住宅街です。出発前に打ち合わせを行い、各訪問区割りとし留守宅には返信封筒付き署名用紙の投函を確認し、1時間後に再び合流しました。訪問趣旨を伝えるとほとんどのお宅が出て来られ、快く署名に応じてくれました。やはり、子育て世代が多いので「学校給食無償化」への関心の高さが伺えられました。

第545回さよなら原発!金曜行動 さよなら原発!北九州集会第2回実行委員会

12月15日、小倉駅デッキで、さよなら原発!金曜行動がありました。この日で545回目です。リレートークと署名活動で、原発廃炉と再稼働反対をアピールしました。



その後、北九州生涯学習総合センターで、さよなら原発!北九州集会第2回実行委員会が開催されました。実行委員会では、以下の内容が確認されました。

1 北九州集会

3月10日(日)13:00
勝山公園 集会後パレード

2 「サイレント・フォールアウト」上映会

2月11日(日)13:00~15:00
ウエル戸畑多目的ホール 参加費無料

3 九電本店行動

3月27日(水)12:00~15:00
公開質問状・団体交渉



平和をあきらめない北九州ネット 第9回総会

日時:1月21日(日)14時から
場所:AIMS 階311~313会議室

- 第一部:第9回総会
2023年の活動の総括、今後の方針など
- 第二部:記念講演
名古屋学院大学 飯島 滋明 教授

— 進む軍事化と、日本の平和への針路 —
講演内容:イスラエルのガザ侵攻によって戦争の実相をまざまざと見せつけられているときに、南西諸島や九州全体の軍事化がどんどん進められています。憲法改悪の動向を含め戦争をする国づくりに対する私たちの関わりと日本の針路を明確にします。
Profile:1969年東京生まれ。2007年3月早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学。現在、名古屋学院大学教授(憲法学・平和学)。戦争をさせない1000人委員会事務局次長。安保法制違憲訴訟常任幹事。著書等に「日本軍人問Q&A」(吉川弘文館、2014年)、「自衛隊の変貌と平和憲法」(現代人文社、2019年)など。

市民のみなさん
戦争は、始まったかながら終わらない。多くの市民、なかでも女性や子供が犠牲になります。止めなければ、究極「ジェノサイド」まで行き着くことを、今、私たちは見えています。戦争は、私たちの生活より優先して膨大な国家予算を消費します。この流れを絶対に止める意志を固め合しましょう。
連絡先:平和をあきらめない北九州ネット:池上 090 6207 9303

北九社保協通信

報告・資料集 2023年11月号
11月30日 事務局発行

市保健課との懇談会に向けて事前申し入れ事項を提出

11月10日に毎年、実施している北九州市保健課との懇談会に向け事前の申し入れ事項を当局に提出しました。当日は保健係長と適正化担当係長が対応しました。この間、懇談会ではより良い生活保護制度を目指すことを目的に市民現場の状況を明らかにし行政と協議を行ってまいりました。その結果、長年の懸案事項となっていた「14日以内の生保決定」や「市HPでの生保申請の広報」「自立更生費」と「介護扶助や施設入所の課題」を中心に12月22日に懇談を行う予定です。

「介護の日」に民医連健和会と共催で相談会を実施

11月11日介護の日に中央社保協や民医連からの提議を受け、昨年に引き続き健和会と共催で「介護・認知症なんでも相談会」を実施しました。相談員として当日は健和会のケアマネや医療ソーシャルワーカーが対応しました。当日は件数は少なかったですが、地域から相談が4件ありました。相談内容はどれも深刻で「どこに相談したらよいのか」「何か解決策はないだろうか」と悩む介護をしている家族からの悲痛な声に答えがすぐには見つかからない事例にも参加した相談員はしっかりと話を聞き受け止めていました。

生保110番には4件の深刻な相談

11月21日に定期継続開催の「生保110番」を実施しました。残念ながら当日はマスコミの取材もありませんでしたが、地域配布したチラシを見ての相談が4件ありました。中には直接、事務所へ相談に来られた方もいらっしゃいました。この方は困った時に相談しようとして、配布したチラシを大事にとっていて今回、生保110番が実施されている事を知らずに来所された「夫の医療費がかかり今の年金だけでは生活が出来ない」との相談で弁護士が対応することができ早速、その場で福祉事務所へ申請に行くこととなりました。また、定期的にチラシを撒いている地域の60代兄弟からの相談には後日、生保会が生保申請同行することとなりました。やはり、地道に継続してチラシを配布する事の重要性を痛感した今回の相談会でした。

いのちと暮らしを守る相談会

フリーダイヤル(通話料無料)
0120-15793(ひんこんくそう)

12月23日(土)10時~18時
コロナ禍に加え物価高騰の影響で生活に困っている方、健康に不安を抱えている方、悩まず電話を!
弁護士、生保会、病院ケースワーカー、看護士などの専門家が無料で相談に応じます

http://siminnokai.sakura.ne.jp
e-mail:koe@siminnokai.com

803-0817
小倉北区田島13-21 田島ビル3F
TEL 093-592-5000
FAX 093-571-4346

平和を守りつづける北九州市民の会